

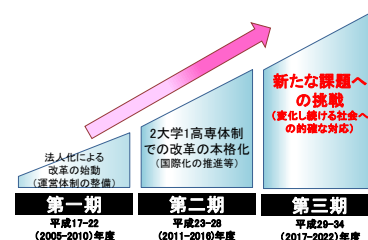
公立大学法人首都大学東京 平成31（2019）年度 年度計画概要

第三期中期計画

～ 一層の飛躍に向けた“選択と集中”による積極果敢なチャレンジを展開～

【重点方針】（計画期間：平成29（2017）年度から6年間）

- ① グローバル社会において活躍できる人材の育成、人類社会の発展に貢献する卓越した研究の推進
- ② 東京都が設立した公立大学法人としての特色を生かした教育研究を推進し、東京の未来へ貢献
- ③ 社会の要請に的確に応えるための法人運営基盤の強化



平成31（2019）年度の基本方針

～各校のプレゼンスを向上させる更なる飛躍の実現に向けた計画を立案～

教育・研究の充実

豊かな人間性と創造性を兼ね備えた世界で活躍できる人材の確保・育成のため、教育研究内容の充実や環境整備を推進

社会貢献の推進

生涯現役都市の実現や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(※)に向けた取組を効果的に進めるなど、都との連携を強化するとともに教育研究成果を社会に積極的に還元
※以下、東京2020大会という

組織運営基盤の強化

ブランド力向上を図るための戦略的な広報展開や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、施設設備の計画的な更新・整備

グローバル化対応の加速

学生の留学支援や留学生の受入れを拡充するとともに、世界の大学等との国際連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速

大学・法人の名称変更等に伴う中期計画の変更を検討中

2020年4月に大学・法人の名称変更を予定

首都大学東京 → 東京都立大学

産業技術大学院大学 → 東京都立産業技術大学院大学

公立大学法人首都大学東京 → 東京都公立大学法人

- ◆ 都立の大学・高専としての存在意義の明確化
 - 都民・都政へ教育研究成果を一層還元
 - 名称変更により「都立」であることを分かりやすく発信
- ◆ 社会のニーズを捉えた教育プログラムの充実
 - 多様な学生(社会人・シニア・留学生)の受入れを推進
 - 特色を生かし、新時代に求められる人材を育成

中期計画変更への対応

中期計画の変更の方向性を見据え、各大学・高専の教育研究の充実、更なる発展に向けた取組を反映

中期計画変更を見据えた平成31（2019）年度の主な取組

首都大学東京

- 都をはじめとする行政のニーズと研究シーズのマッチング機能を強化
- 日野キャンパスを軸とした多摩地域の産学公連携推進の方策を検討
- TMUプレミアム・カレッジを開講
- 五大陸国際学生シンポジウム(仮称)など国際交流プログラムを充実

産業技術大学院大学

- 2020年4月からの研究科再編に向け、カリキュラムを改善・充実
- AIITシニアスタートアッププログラムの開講科目をブラッシュアップ

東京都立産業技術高等専門学校

- 新しいものづくりを牽引する実践的技術者教育を目指し、本科教育再編に向けたカリキュラム等を作成、コース横断型の医工連携教育を準備

法人共通(組織運営基盤)

- 都や区市町村等との連携を推進する組織を拡充・機能強化
- 将来構想等に基づいて教学マネジメントを強化
- 大学名称変更の周知を含め、専門家の知見を活用した広報を展開

- 教育研究組織を再編成し、新旧カリキュラムに基づく教育を提供
- 大学院分野横断プログラムの新規開講
- 教学IRシステムによる教育成果の把握・検証に基づく教育改善の促進
- アクティブ・ラーニングの推進及びFDセミナーの充実等により教育の質の更なる向上
- 提案公募方式による課外活動支援制度による学生支援の充実
- 大学入学者選抜改革に向けた「基本方針」の策定・公表



【提案公募方式課外活動支援制度活動報告会】



【AL手法紹介セミナー】

◆教育改革の推進のための教育課程の見直し

- ・大学院分野横断プログラムで初の修了生を輩出するとともに、**新たなプログラムの検討を開始**
- ・大学院授業科目の早期履修制度の導入、法科大学院と連携した法曹コースの設置準備など学部・大学院の連携を推進
- ・**卓越大学院プログラムの開始や企業等と連携した実践的なPBL教育の実施等、多様な教育プログラムを提供**

◆教育改革を推進する取組の強化

- ・教学IRによるデータ分析などにより、教育研究組織再編の多面的な評価と成果の検証を実施

◆学生への支援体制の充実

- ・国の高等教育無償化の動向に応じた学生への経済支援体制を整えるとともに、**高校生・受験生にも広く周知を実施**

◆入試改革・高大連携の推進

- ・大学入学者選抜改革に対応するため、「学力の3要素」の多面的評価を目的とした学部入試制度及び選抜方法の分析・設計などを実施

★東京都教育委員会や都立高校等との連携を強化し、都立高校生に大学レベルの課題研究を実地に学ぶ機会の提供を検討

第三期の方向性

「本物の考える力」を身につけるための教育を推進



【卓越大学院プログラム連携13大学共通ロゴマーク】



【東京都教育委員会との連携事業】

【第3期KPI】

★TA等の配置数 **1,000人以上**
★AO入試等 **募集人員全体の30%**

- 先進研究イニシアティブ推進機構を設置し、リサーチコアへの支援を開始
- 研究費学長裁量枠の見直しなど研究費制度の充実
- 研究機器共用センターを設置・運用開始
- 英文プレスリリース、研究広報誌、研究センター紹介パンフレット等による国内外への研究成果発信

先進研究イニシアティブ推進機構

優れた研究資源を有機的に結びつけ、「世界の頂点」になり得る新たな研究分野の創成と大都市課題の解決を目指す

研究センター

宇宙学・天文学研究センター
全の化学研究センター
など16拠点

リサーチコア(新制度)

優れた研究実績
首都大の使命に合致した研究領域
などをもつプロジェクト等から形成



【研究センターパンフレット】

【先進研究イニシアティブ推進機構】

◆世界をリードする研究の重点的な推進

- ・新学長裁量枠による国際共同研究支援など、**国際共著論文割合の高水準維持やトップ10%論文割合増加に向けた支援策を実施**

★大都市の先端的課題解決に取り組む研究センターやリサーチコアによる**分野横断的・学際的な研究プロジェクトを推進**

◆研究推進体制の整備

- ・国外の大学や研究機関と連携強化し、**国際研究プロジェクトや共同・受託研究等を獲得**
- ・採択方針変更を踏まえた**科学研究費補助金の新規採択率の向上や大型研究プロジェクト獲得のため申請書作成支援等**を実施
- ・研究機器共用センターの学外開放に向けた準備を実施

第三期の方向性

大都市の先端的課題解決に資する研究を推進



【リサーチコア「serBOTinQ」】



【科研費講習会】

【第3期KPI】

★Top10%論文割合 **10%以上**
★国の大型プロジェクト **12件以上獲得**
★科研費新規採択率 **30%**



- 施策提案発表会の充実、島しょエリアの産業活性化プロジェクトなどの創設・実施、研究機関との包括連携協定等、都との連携の推進
- 東京2020大会で求められるボランティアリーダーの育成プログラムの拡充や講習会等を通じた障がい者スポーツの理解促進・裾野拡大
- TMUプレミアム・カレッジ開講に向けたカリキュラムの構築やイベント等の広報活動の実施
- 地元金融機関、民間企業、区市町村等と連携強化し、地域課題解決に向けたプロジェクトを組成



【障がい者スポーツ体験教室】



【火山災害対策研究フォーラム】

◆全学的な都連携の推進

- ★社会情勢を的確に反映した施策を都に提言・提案するとともに、行政ニーズと研究シーズのマッチング機能を強化し、学際的大型プロジェクトを組成
 - ・障がい者スポーツの理解促進・裾野拡大に向けた取組を進めるほか、ラグビーワールドカップ2019釜石開催等のスポーツボランティアをはじめ、東京都との協定により学生のボランティア活動の支援を強化するなど、東京2020大会成功に向け機運を醸成



【釜石鶴住居復興スタジアムオープンDAYボランティアツアー】

◆人材育成等を通じた連携の推進

- ・高度金融専門人材育成の取組の一環として、ロンドン大学シティ校との国際交流協定に基づく交流事業を実施



【ロンドン大学シティ校国際交流協定署名式】

◆国内外の大学及び研究機関、企業等との連携強化

- ★日野キャンパスを軸とした多摩地域の産学公連携推進の方策を検討



【TMUプレミアム・カレッジ】

◆リカレント教育のための学修環境整備

- ★TMUプレミアム・カレッジを開講し、シニアへ体系的なカリキュラムを提供するとともに、2年目も学び続けられる「専攻生」制度を構築

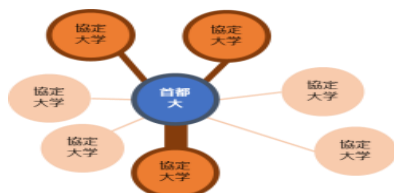
第三期の方向性

都民生活の質的向上に向けた取組の充実

【第3期KPI】

★大型研究プロジェクト 10件以上創設

- 国際化の加速・充実に向けた国際化基本方針、国際化行動計画の策定
- 奨学金プログラムの運用改善や各種留学イベントの実施による学生の海外派遣の拡充
- 留学生宿舍の確保、SATOMU(交換留学生受入プログラム)の開始など留学生受入体制の整備
- 交流重点校制度の構築や国際交流プログラムの実施



【交流重点校イメージ】

◆学生の海外派遣・留学生受入れの拡充

- ★ロールモデル集を作成し、学生の留学意欲向上を図るなど、学生の海外派遣を促進するとともに、新英語教育プログラムの開発に向けて「外国語教育室」を設置
- ★SATOMUプログラムの再構築により短期留学生への教育を充実させるとともに、都市外交人材育成基金による都の姉妹友好都市等からの大学院生受入れ等により留学生の受入れを拡大



【海外留学帰国生交流会】

◆海外大学等との連携強化に向けた取組

- ★交流重点校との活発な教育・研究交流を図るとともに、新たな国際交流プログラム(GCC、GPAC、GDC)を実施
- ★東京2020大会を機に海外大学の学生との交流の促進等を図るため五大陸国際学生シンポジウム(仮称)を開催



【交流重点校トムスク国立大学覚書調印式】

◆キャンパスの国際化

- ・外国人教員をより弾力的に採用できる環境を整備

第三期の方向性

国際的な教育研究環境構築の推進

【第3期KPI】

★学生の海外派遣総数 1,350人程度

★外国人留学生数 900人程度

★国際共同研究等件数 200%以上

教育・研究

- 将来構想検討委員会等を設置して教育体制の在り方を検討し、2020年4月から1専攻3コース体制への再編を決定
- PBL型教育に関するノウハウをまとめた「AIIT PBL Method」(日本語版・英語版)を作成、発信
- 他大学や産業界と連携した情報教育プログラム(enPiT)の展開
- 学生が獲得したスキル・知識を明示したディプロマサプリメントの作成、ブレンディッド・ラーニングの導入など教育の質の改善の促進
- HPリニューアル、大学説明会の充実、ロールモデル集の活用等によるターゲットにあった効果的な入試広報の展開



【AIIT PBL Method】

◆ 社会情勢や産業界のニーズを反映した教育体制の検討

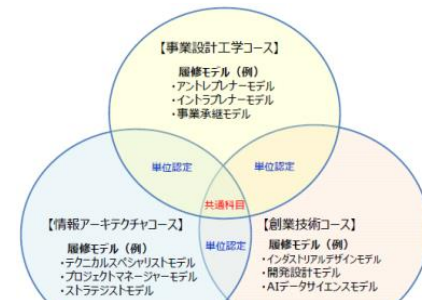
- ★社会のニーズに応える研究科再編に向け、運営方針を検討、カリキュラムを改善・充実
- ★将来構想検討委員会等を中心に、再編後の教育体制について更に検討

◆ 志願者獲得に向けた効果的な広報活動の展開

- ・ロールモデル集、AIIT PBL Method等を活用した企業等へのアプローチ、SNS等での積極的な情報発信
- ・リカレント教育に関するニーズ調査等の成果を基にリカレント教育の効果を発信
- ・広報内容を刷新、HP等をリニューアルし、再編後の学生獲得に向け大学院説明会の参加者を確保

◆ 高度専門職教育に関する教育研究成果の発信

- ・高度専門職人材育成に関する教育研究成果発信するAIIT高度専門職人材教育研究センターを設置



【研究科再編(1専攻3コース制)の概要】

【第3期KPI】

- ★新規カリキュラム開発 **30年度**
- ★アクティブ・ラーニング導入率 **全授業の8割**
- ★大学院説明会参加者数 **年間250名超**

第三期の方向性

高度専門職業人育成のための教育プログラム展開、入学者確保

社会貢献

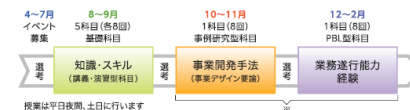
- 「ITとデザインエンジニアリングソリューションコンテスト」を開催
- 産業振興に資する専門セミナーや公開講座を開催、自治体職員向けIT研修の実施
- 社会人専門職コミュニティの推進を図るマンスリーフォーラムの実施
- AIITシニアスタートアッププログラムを平成30年8月に開講

◆ 社会人リカレント教育と学修コミュニティの更なる充実等

- ★AIITシニアスタートアッププログラムをブラッシュアップし、シニア対象のリカレント教育の場を提供
- ・起業支援を目的とした上記プログラムの実施に当たり、都の区市町村と連携した取組を検討・実施、産業振興に貢献
- ・マンスリーフォーラムを着実に実施、SNS活用や新たな仕組み構築等により学修コミュニティを更に充実化

◆ 東京2020大会に向けた取組

- ・東京2020大会関連テーマを扱うPBLを2テーマ以上実施



【AIITシニアスタートアッププログラム(平成30(2018)年度)】

【第3期KPI】

- ★マンスリーフォーラム参加者数 **年間600人程度**
- ★自治体職員向け講座数 **年間10講座**
- ★東京2020大会に向けたPBL **6テーマ以上実施**

第三期の方向性

産業振興への貢献・社会人の学修支援

グローバル化

- グローバルPBLや国際コースによるグローバル人材の育成充実
- APEN(アジア高度専門職人材育成ネットワーク)によるアジア地域の大学等との連携構築
- アジア諸国以外の国の大学等との交流促進

◆ アジア諸国等の大学と連携したグローバル教育の推進

- ・学生がグローバル人材として獲得すべき能力指標(平成30(2018)年度作成)を活用し、各学生がグローバル人材として獲得すべき能力を指導
- ・アジア諸国の大学ネットワークを活用し、PBL型教育について国内外に広く発信。アジア諸国等の大学との交流を促進し、連携を強化



【第8回APEN理事会】

第三期の方向性

グローバルに活躍する高度専門職業人の育成

【第3期KPI】

- ★グローバル人材能力指標達成割合 **全学生の8割**

- 技術革新や産業界のニーズを踏まえたカリキュラムの再編、新たな職業教育プログラムの開設、連携企業等へインターンシップを実施
- 新教育課程に対応するための実験・実習設備の充実化、指導体制の整備
- エンジニアリングデザイン教育の導入やアクティブ・ラーニングの促進
- ルーブリック評価の導入など学生の学習到達度評価・検証の仕組みの充実
- キャリア支援センターの設置などキャリア教育体系の再整備



【情報セキュリティ技術者育成プログラム】



【航空技術者育成プログラム】

◆国際的に通用する工学教育の展開

- ・情報セキュリティ技術者育成プログラムにおいて、**専攻科学生に対する実践的な教育を開始**
- ・航空技術者育成プログラムにおいて、**初めての修了生を輩出**
- ★品川キャンパスの**本科教育の再編**に向けカリキュラム等を作成、荒川キャンパスの**コース横断型の医工連携教育**の準備を推進

◆学生生活支援、入学者選抜

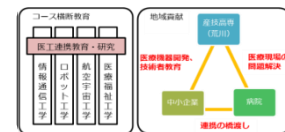
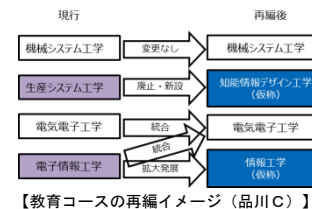
- ・経済的困窮学生向けの経済的支援を拡充・実施、**国の高等教育無償化**を踏まえた学生への支援体制を整備
- ・平成34(2022)年度から**拡大する特別推薦入試制度**の実施に向け**荒川区・品川区と連携委員会を設置**
- ・女子学生の確保に向け、情報発信を充実、広報活動を強化

◆「ものづくり人」の育成」に資する研究活動の活性化

- ・若手研究者を対象とした外部資金獲得に資する支援等を実施

第三期の方向性

新しいものづくりを牽引する技術者教育



【第3期KPI】

★職業教育プログラム修了生
情報**50名以上**・航空**20名以上**輩出

- オリンピック・パラリンピックを見据えた「快適環境マップ」の作成・開発
- 若年層の技術者教育の一環として中学生向け情報セキュリティ研修を実施
- 品川区、警視庁と連携し、中小企業者向けの実体験型サイバーセキュリティセミナーを実施



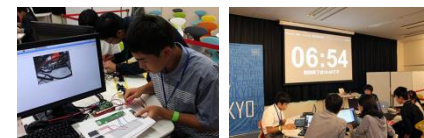
【実体験型サイバーセキュリティセミナー】

◆ものづくり技術者の学び直し教育の展開等

- ・若年層からの情報セキュリティ技術者教育に貢献すべく、**中学生向け研修**を実施
- ・都職員向けの**情報セキュリティに関する研修**を試行
- ・品川区との協定に基づく**中小企業対象実機訓練**のためのマルウェア感染体験システムを開発

第三期の方向性

ものづくり技術者支援の充実



【Cyber Security TOKYO for Junior】

【第3期KPI】

★ものづくり技術者育成講座 **倍増**
★都職員向け情報セキュリティ講座 **31年度開始**

- 海外プログラムを再編し、より実践的な内容に強化
- JABEEプログラムに対応した教育カリキュラムを開始
- 英語学習支援のための国際交流ルームの設置



【新たな海外プログラムの概要】

◆国際的に活躍できる技術者の育成の推進

- ・平成35(2023)年度**専攻科一部専門科目の英語教育導入**に向けた実施案の検討を開始
- ・2つの**海外体験プログラム(IEP、GCP)**について70名の参加者を確保して実施、検証結果に基づき研修内容を改善

第三期の方向性

グローバル化に対応できる技術者教育の推進



【海外体験プログラム(IEP)】【海外体験プログラム(GCP)】

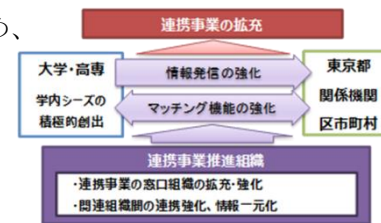
【第3期KPI】

★海外体験プログラム参加者数 **年間70人程度**
★JABEE受審 **33年度**

- 法人の重点事業に対する適正な進捗管理、法人予算全体の収支構造を中長期的に見据えた財政運営等
- 「GOS」関連事業等の推進等のトップマネジメントを強化、将来を見据えたブランディング戦略や各大学・高専が中長期的に目指す姿を検討
- コンプライアンス確保・向上のため、内部統制に係る体制を整備
- 外部資金獲得推進に向けたURAの採用、研究重点教員支援制度の構築
- 2大学1高専の特性に合わせた教員人事制度の導入、将来を見据えた「選択と集中」の観点に立った教員定数設定
- 大学高専連携事業基金を活用した国際連携プログラムや共同研究、動画コンテンツの実施、2大学1高専の新たな連携の在り方を検討
- 「人材育成プログラム」に基づく法人職員のSD活動の展開、職員の海外研修の拡大など国際化に対応する職員の育成を推進
- テレワークの試行による職員のライフ・ワーク・バランス推進
- ターゲットを明確にした広報戦略を策定、新たな大学のマークやスクールカラーの活用による大学の魅力発信
- セキュリティ組織（CSIRT）の設置、セキュリティ教育の充実、インシデント対応体制の維持向上
- 女性研究者研究支援員制度、学内保育施設の開設、障がい者差別解消やハラスメント防止研修の推進

◆ 戦略的な法人経営の展開

- ・大学・法人の名称変更等を契機として、各学校のプレゼンス及び認知度の更なる向上に向けた取組を検討
- ★都立の教育研究機関として社会貢献を推進する体制充実化のため、都や区市町村等との**連携事業を推進する組織を強化**
- ★「TMU Vision 2030」等の各学校の将来構想に基づいた、**教学マネジメント**を推進



【TV会議システムを使用した勉強会の様子】

◆ 業務運営の改善、財務・施設基盤の整備、その他

- ・ライフ・ワーク・バランス推進に向けた取組の試行結果を踏まえ、**多様な働き方の実現や共通業務の効率化**へ向けた検討を加速
- ・財務会計システム更新等の各種システム改修、事務処理フローの見直しによる**更なる業務効率化**
- ・**寄附金受付システム**の周知促進・利用拡大に向けた広報強化、**寄附手段の多様化**を推進
- ・**首都大学東京の将来を見据えたキャンパスグランドデザイン**の策定に向けた検討、**最適な再配置や施設マネジメントの在り方**の検討を開始
- ・平成35 (2023) 年度からの**日野キャンパス新施設の供用開始**に向けた**基本設計**を実施



【プロモーション動画】

◆ 情報発信等の強化

- ★(法 人) **専門家の知見を活用**した広報活動を展開、都民に実績をわかりやすく発信
(首都大) 名称変更に向け、**新生・都立大学に関する認知を浸透させる広報**を実施
(産技大) 再編後の学生獲得に向け、**広報内容を刷新、HP等をリニューアル**
(高 専) **HPやSNS等のオンライン上の広報媒体**を通して強みや特長を発信
- ★卒業生・同窓会等との**連携強化策**を検討・実施し**愛校心を醸成**

◆ 法令遵守等の取組

- ・**全学的な研究コンプライアンス意識の一層の向上**を図るため、教職員等を対象にeラーニング等による**研究コンプライアンス研修**を実施
- ・**教職員のセキュリティ意識及びリテラシーの向上**、2016年度策定の情報セキュリティ改善計画について**システム監査による有効性検証**を行い、情報セキュリティ対策の見直し

第三期の方向性

戦略的な法人経営を支える基盤強化

2大学1高専の連携の促進

認知度・ブランド力の向上

社会的責任を果たすための体制強化

【第3期KPI】

- ★TOEICスコア600点以上職員数 **全職員の25%以上**
- ★女性教員比率(首都大) **全教員の20%**